

【会議録】

主 題 令和3年度 第1回つくばみらい市地域公共交通会議

- 日 時：令和3年4月22日（木） 午後2時10分～午後3時25分
- 場 所：つくばみらい市役所谷和原庁舎 2階 会議室 1、2
- 出席委員：秋山義継会長、染谷 武副会長、牧瀬成博委員、中村 浩委員（代理：富山勝彦氏）、武藤成一委員（代理：岡野篤之氏）、田中正利委員、富山和之委員、山野井周一委員、松本譲二委員（代理：飯島宣昭氏）、野村俊光委員、海老原弘委員、下鳥百合子委員、島崎邦雄委員、大郷秀樹委員、中嶋克寿委員、石塚成美委員、岡野富士男委員（代理：大崎 優氏）、渡来真一委員（代理：細井大悟氏）、伊藤和浩委員 以上19名
- 欠席委員：鈴木裕一委員、川上敬一委員、服部 透委員、小川一成委員 以上4名
- 事務局：都市建設部 石島部長  
都市計画課 荒井課長、藤倉課長補佐、渋谷主査、堀越係長、岩上主事
- 傍聴人：1名

●次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 会長あいさつ
- 4 議題
  - 承認事項
    - (1) コミュニティバス バス停新設（名称変更・設置時期の変更）について
    - (2) コミュニティバス 小絹ルート一部変更について
  - 報告事項
    - (1) 令和2年度 利用実績について
    - (2) 病院バスについて
- 5 閉会

●会議要旨

議題

承認事項

- (1) コミュニティバス バス停新設（名称・設置時期の変更）について
  - ・令和2年度第2回つくばみらい市地域公共交通会議にて承認された、みらい平市民センター付近へのバス停新設について、みらい平市民センターの開設予定日の決定に伴う名称、及び設置時期の変更の説明をし、承認された。
- (2) コミュニティバス 小絹ルート一部変更について
  - ・運行車両更新に伴い、狭隘道路における転回を避けるため、コミュニティバス「小絹ルート」における、一部区間のルート変更について説明し、承認された。

報告事項

- (1) 令和2年度 利用実績について
  - ・令和2年度におけるコミュニティバス・筑波学園病院 病院バス実証運行・デマンド乗合タクシーの利用実績について報告した。
- (2) 病院バスについて
  - ・4月1日よりルート、及び一部ダイヤを変更し、本格運行を開始した筑波学園病院への病院バスについて報告した。  
また、今年度実施する、JAとりで総合医療センターへの病院バス実証運行に向けた進捗状況について報告した。

●会議録

1 開会（午後2時10分）

2 委嘱状交付

・人事異動により、新しく委員になられた方に委嘱状を交付した。

3 会長あいさつ

4 議題

承認事項

(1) コミュニティバス バス停新設（名称・設置時期の変更）について

・令和2年度第2回つくばみらい市地域公共交通会議にて承認された、みらい平市民センター付近へのバス停新設について、みらい平市民センターの開設予定日の決定に伴う名称、及び設置時期の変更の説明をし、承認された。

【質疑等】

委員意見：茨城運輸支局では、現在、危険バス停の改善に取り組んでおり、交差点、横断歩道から前後5mに車体が入らない位置にバス停の設置を推奨している。

今回、バス停の設置位置に変更はないということだが、資料の図の中の4つのバス停のうち番号②のバス停について、安全性に問題はないだろうか。

事務局：番号②のバス停の設置場所については、直近のみらい平駅南交差点からの距離が47mとなっている。図の中では、番号②のバス停の真下から道路が交差するように見えるが、当該箇所は歩道であり、直接、大通には通り抜けができないようになっている。

また、コミュニティバス運行事業者において、現地の実地踏査を行い、安全性が担保できるとのご判断をいただいている。

委員意見：そのようなことであれば問題ないと思われる。

今後においても、バス停を新設する際には安全性について、十分留意していただきたい。

会長：全国的にバス停の安全性の検証が求められている。

今回の新設バス停に限らず、他のバス停についても、絶えず検証を行い利用者の安全性を優先していただきたい。

(2) コミュニティバス 小絹ルート一部変更について

・運行車両更新に伴い、狭隘道路における転回を避けるため、コミュニティバス「小絹ルート」における、一部区間のルート変更について説明し、承認された。

【質疑等】

委員意見：安全運行を確保する上での対応というところでよろしいかと思う。1点ご質問として、地図を見る限りだと変更ルートは住宅地を走ると思われるが、そこまでの義務があるかは分からないが、住民の理解は大丈夫なのだろうか。

事務局：こちらのルート変更については、現在、小絹ルートのバスの車内等にルート変更を予定している旨、周知案内のチラシを掲出しているところである。

委員意見：つくば市においても、住宅団地を通るルートがある。

最近では、コロナ禍で在宅勤務をする方が多いこともあり、そのことに関する問い合わせが増えている。

事前に周知、理解を得られる方がよろしいかと思う。

## 報告事項

### (1) 令和2年度 利用実績について

- ・令和2年度におけるコミュニティバス、筑波学園病院 病院バス実証運行、デマンド乗合タクシーの利用実績について報告をした。

#### 【質疑等】

委員意見：コミュニティバスについて2点ほどお伺いしたい。

まず、1点目として、毎月バス停ごとに非常によく調べられている。これだけ大変なデータをどのようにして集めているのか教えていただきたい。

2点目は、みらい平通勤ライナーについてだが、予想をしていたよりも利用者数が増えていない。中学生以上が200円、小学生が100円、この運賃設定が高いということで、今年度より運賃改定を実施したわけだが、利用者数に変化はでているのか教えていただきたい。

事務局：バス停ごとのデータについては、運行事業者のご協力をいただき、各ルート毎、バス停毎の乗降人数について、日々集計をしていただいている、その集計した日報を、その日のうちに本市へファックスで送付していただき、月ごと、四半期ごと、年度ごとでまとめている。

運転手の方には、大変なご苦勞をおかけしているが、ルート毎の乗降人数、バス停ごとの乗降人数について、詳細に分析していかなければ、次回のルート改正に向けての参考資料とならないため、集計分析を進めているところである。続いて、運賃を改定した、みらい平通勤ライナーの利用者数の推移については4月20日時点での速報値でご説明する。

1日あたりの平均利用者数は、運賃改定前の3月が2.09人、改定後の4月が2.2人、0.11人の増となっている。

1便あたりの平均利用者数は、運賃改定前の3月が0.69人、改定後の4月が0.73人、0.04人の微増となっている。

委員意見：通勤ライナーについては、これからの経過を注視していただきたいが、先程の報告のなかで、駅から遠いバス停の利用者数が現状、多いという事であるが、駅近くの方は歩いて駅に向かっているのだろうか。

そのあたりを詳細に調査して、通勤ライナーをもっと活用できるようにしていただきたい。

事務局：昨年9月に、通勤ライナーのお試し乗車を1週間実施した際、職員も同乗し利用者アンケート調査を実施した。やはり、もともと駅から近いこともあり、雨の日であれば、運賃が安ければ利用したいとの意見があった。

また、実際に職員が乗車して分かったことは、始発のみらい平駅からふたばランド入口まで、また、みらい平コミセンから陽光台2丁目の間は、徒歩ないし自転車で駅に向かわれる方が非常に多かった。

会長：できるだけデータを使って、そして利用者の方へのアンケート等、様々な情報を総合的に判断して、多くの方が満足できるような地域交通体系を構築していかなければならない。

ラストワンマイルという言葉があるが、交通機関から目的地までの移動手段、自転車や、最近では電動カーなど様々なものがでてきているが、将来的にはそういったことも含めて交通体系の中での、各交通機関の位置づけを最適にしていくことが大事になってくる。

これからもデータはきちんと集計し、利用者の声をとらえながら取り組んでいただきたい。

委員意見：最近、伊奈東地区からみらい平地区へ抜けるバイパスが開通したが、今後、新しい道路ができた際、ルートへの組み込みは、考えているか。

事務局：委員ご指摘のとおり、バイパスが開通したり、現行の道路が拡幅されたりと、本市の道路体系は日々変化している。

新しいバイパス等をコミュニティバスの運行ルートとすることにより、運行の速達性向上は見込める一方、新しくできたバイパス沿いには、住宅が少ない現状である。

今後、バイパス沿いに人口が集積していく可能性はあるが、現在は、一定程度人口が集積しており、速達性は劣るものの利用される方が多く見込めるルートを運行させていただいている。

今後も、道路体系の変化を注視しつつ、次回ルート改正時の検討材料の1つとさせていただく。

## (2) 病院バスについて

・4月1日よりルート、及び一部ダイヤを変更し、本格運行を開始した筑波学園病院への病院バスについて報告した。

また、今年度実施する、JAとりで総合医療センターへの病院バス実証運行に向けた進捗状況について報告した。

### 【質疑等】

委員意見：JAとりで総合医療センターへの病院バスの実証運行については、いつごろの開始を目標としているのか。

事務局：実証運行の開始時期については、7月頃を目標に現在、準備を進めているところである。

会長：地域の公共交通を作りあげると同時に、他市との連携が必要になってきている。広域的な公共交通を考えていかなければならない。他市との連携、調整を図りながら進めていきたいと思っている。

5 閉会（午後3時25分）

### ●配布資料

【資料1】 コミュニティバス バス停新設（名称・設置時期の変更）について

【資料2】 コミュニティバス 小絹ルート一部変更について

【資料3】 令和2年度 利用実績について

【資料4】 病院バスについて